

生活のきまり

ここに述べられている事からは、誰もが気持ちよく学校生活を送るための具体的なきまりです。若水中学校の生徒としての自覚をもって行動しましょう。

1 服装・頭髪について

- (1) 制服またはブレザー制服を着用する。移行期間を1年間とするため、3年生もブレザー制服の着用を認める。
- (2) 衣替えの期間を設けないので、各自が季節・気候・体調に合わせて、夏服・冬服を着用する。ただし始・終業式など改まった行事の日は全員が冬(夏)服を着用する。
- (3) 肌着について
夏… 白、ベージュなどの透けない色で無地のものを着用する。また、ワンポイントやロゴ程度は可。ただし背面プリントは不可とする。
冬… 黒、紺、グレー、白などの地味な色で無地のものを着用する。ただし、ワンポイントやロゴ程度は可。ただし背面プリントは不可とする。
- (4) 中間着について
肌寒いときに中間着として、カーディガン、Vネックセーター、ベストを着用可。色は、黒、紺、グレー、ベージュ・白などの地味な色。
＜中間着用時の注意点＞
・タグなどに、必ず記名する。
・名札はきちんと付ける。(中間着を脱ぐ場合は名

(1)

ゴ程度は可。ただし背面プリントは不可とする。ハイネックタイプで首から見えるものは不可。

⑤タイツ

→色は黒かベージュを着用可。その際に靴下を履いてもよい。(P16参照)

⑥カイロ

→ゴミは各自で持ち帰ること。適切な扱いをすること。

⑦その他

→耳当て等は体調に合わせて申し出て許可を受ける。

- (6) 名札は登校したら所定の位置に付ける。
- (7) 通学靴は白を基調とした走る運動に適したひもつきマジックテープの靴を原則とする。厚底やハイカットは不可。靴下は、白、黒、紺、グレーを基調としたものの無地。くるぶしソックス可。
- (8) 上ばき、体育館シューズは、学校で指定したものを使用する。(上ばきは学年色)
- (9) 頭髪は男女ともに清潔感のある髪型に整える。
 - ・前髪が目にかからないようにする。状況によって前髪が目にかかってしまう場合は、黒、紺などのヘアピンを使用してよい。髪の長さは、肩につく場合は黒、紺などの派手でないゴムバンドでまとめる。
 - ・特殊な髪型、染髪、脱色、パーマ等の学校生活にふさわしくない髪は不可。
- (10) 体育時の服装等については4月の授業で指示を受ける。

(3)

- 札を夏服・冬服に付け替える)
- ・身体に合ったサイズを着用する。
- ・腰に巻かない、肩にかけない。
- ・手指はきちんと出す。
- ・ボタンはきちんととめる。

(5) 防寒具について

＜防寒具の扱い＞

時期を見て、家庭向け案内を出します。使用は登下校のみ。ただし、職員室の入室時、朝教室に入った後、帰りの会のときなどは、コートは脱ぐこと。コート着用生徒は教室で保管するためハンガーを持参すること。集会等で使用する場合は許可を得て着用すること。

①マフラー、ネックウォーマー、手袋

→色や生地は不問。マフラーは極端に長いものは避ける。

②コート

→Pコート、トッパコート、ダッフルコートなど着用。フード付きコートも可。色は、黒、紺、グレー、ベージュなどの地味な色。ダウンやベンチコート等は不可。

③セーター、トレーナー

→黒、紺、グレー、白などの地味な色で無地のものを着用する。ただし、ワンポイントやロゴ程度は可。ただし背面プリントは不可とする。

④冬の保温性肌着

→黒、紺、グレー、白などの地味な色で無地のものを着用する。ただし、ワンポイントやロ

(2)

(11) その他

熱中症対策…登下校中に帽子(キャップ、ハット)を着用することは可。

膝かけ、座布団…体調に合わせて申し出により許可する。

(4)

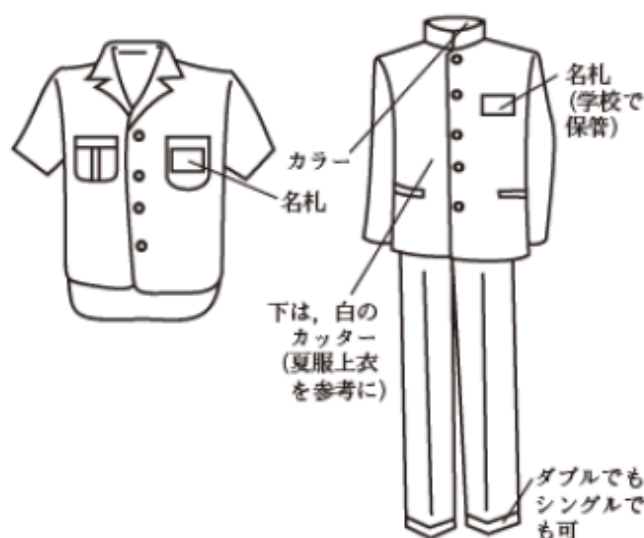
服 装 (男子)

夏 服

上衣は白色の開襟、または半袖カッター（ボタンダウン型も可）でもよい。

冬 服

詰襟標準学生服、長ズボン（色は黒、細いもの、太いものは禁止）



- 靴下は、白・黒・紺・グレーを基調としたもの。
- くるぶしソックスは可。
- ベルトは黒を基調とした派手でないもの。
- 長袖カッターでの登下校は可。

服 装 (女子)

夏 服

セーラー服、白色襟、ラインなし。

冬 服

セーラー服、紺色。白襟カバーをつける。襟ラインなし。



- 靴下は白・黒・紺・グレーを基調としたもの。
- くるぶしソックスは可。
- 秋以降にはくタイツ等はベージュ系の色又は黒色。ベージュ系タイツの場合は、白色の靴下も着用可。黒色タイツの場合は黒色の靴下も着用可。

着こなしガイド

①冬 服

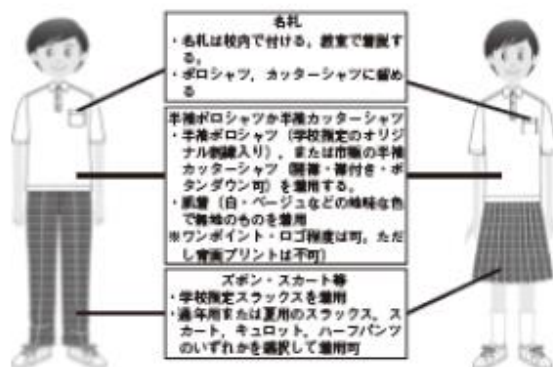
- ブレザー（右前・左前のボタンは適宜付け替える）
- 長袖カッターシャツ（色は白、開襟・襟付き・ボタンダウン可）を着用する。
- 通年用のスラックス（スラックスⅠ型・Ⅱ型）、通年用スカート、通年用キュロットのいずれかを選択する。
- ベルト（黒を基調とした派手でないもの。スラックス着用時に付ける）
- スカート、キュロットで丈調整のために、ゴムベルト（黒、紺）着用可



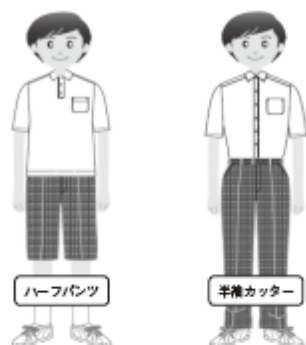
※始・終業式など改まった行事の日は、ブレザーとスラックス、スカート、キュロットのいずれかを着用する。

②夏 服

- 半袖ポロシャツ（学校指定オリジナル刺しゅう入り）、または市販のカッターシャツ（色は白、開襟・襟付き・ボタンダウン可）を着用する。
- ※ポロシャツの場合はズボンに入れなくてよい。カッターシャツの場合はズボンに入れる。
- 通年用のスラックス（スラックスⅠ型・Ⅱ型）、通年用スカート、通年用キュロットのいずれかを選択する。
- 夏用スラックス（Ⅰ型またはⅡ型）、夏用スカート、夏用キュロットスカート、ハーフパンツは好みで選択、着用してもよい。P19参照



※始・終業式など改まった行事の日は、ポロシャツまたはカッターシャツとスラックス、スカート、キュロット、のいずれかを着用する。



移行期間中は、3年生もブレザー制服の購入・着用を認めていく。ただし、着こなしや組み合わせがおかしくならないように考えて着用すること。
 ※ポロシャツ着用の決まりは、ブレザー制服着こなしに準ずる。
 ※ジャケットと学生服のズボン、ジャケットとセーラースカートなどの組み合わせは不可とする。
 衣替えの期間を設けないので、各自が気候・体調に合わせて、夏服・冬服を組み合わせ着用する。ただし、着こなしや組み合わせがおかしくならないように考えて着用すること。

2 校内生活について

- (1) 生徒手帳はいつも携帯し学校生活の指針として活用する。(身分証明書としても活用できる) 無くすなどした場合は、学級担任に申し出て「再発行」の手続きをとる。
- (2) 定められた時間までに登校し、各自の教室で出欠の確認を受ける。体育館などでの集会時は、定められた時間までに整列し、議員が点呼を行う。
 - ・ 8時20分までに 校門通過(極端に早い時刻には登校しない)
 - ・ 8時25分(予鈴) 予鈴前に鞆をロッカーにしまい着席完了(活動開始)
 - ・ 8時30分(本鈴) 出欠の確認時刻30分以降は「遅刻扱い」となる。
- (3) 定められた通学路を通る。(徒歩で登校) また、交通道徳を遵守し、安全に登下校をする。(裏表紙 学区地図を確認)
- (4) 通学カバンは、学習用具が入り、持ち運びやすく、教室のロッカーに入る大きさのカバンを使用する。(例: デイパック、肩掛けカバン、色は不問)
- (5) 学習用具が少ない日は手さげ袋やトートバッグのみも可。(紙袋・ビニル袋は不可)
- (6) 学習のできる準備を整えて登校する。また、学習に不必要なものは持ってこない。
- (7) 無断で、教室内の備品・施設・器具を使ったり、他の教室・建物などに入らない。
- (8) 始業チャイムが鳴る前に着席することを心がける。
- (9) 登校から下校まで、許可なく校外に出ない。
- (10) 環境美化や保健・安全に心がけ、集団生活の向

(5)

上に努める。

- (11) 欠席・遅刻をする場合は、保護者の方に直接学校に連絡を入れてもらう。その後、遅刻した時には、職員室に寄り、登校したことを先生に報告し、所定の用紙を受けとってから教室へ向う。
- (12) 早退や保健体育の授業を見学する場合などは、生徒手帳の連絡欄を使い、学級(教科)担任の先生に申し出る。
- (13) 部活動や授業後の生徒の諸活動は、原則としてテスト1週間前に行わない。
- (14) 落とし物をした場合は、ショーケース(職員室前廊下【保冷庫の横】)を確認し、あれば申し出ること。
- (15) 「友愛の傘」を借りる場合は、「貸し出し用紙」に名前を書き、早めに返却すること。
- (16) その月のランチ券を忘れた場合はできるだけ早く申し出て代用食券を作ってもらふこと。

3 校外生活について

- (1) 地域の一員であることを自覚して、気持ちのよいあいさつやマナーを守った行動をとる。
- (2) アルバイトは、禁止している。ただし、特別な理由がある場合は、学級担任の先生に相談する。

(6)